

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Rel.7.0a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ 8.0	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード		
	瞬間復元ドライブ	Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまう場合がある。	修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください)	
	瞬間復元ドライブ	ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから至急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後にも表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	「\$scrap\$@&&」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライブ	レジストリのバスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライブ	画像を大量に貼り付けてあるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合がある。	特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	クライアント機能	Windows Vistaに瞬快クライアントをインストールした環境で、Windowsに異常が発生した場合、スタートアップ修復が自動的に動作し、ファイルやレジストリが消失する現象が発生する場合がある。	Windows Vistaに瞬快クライアントをインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作しないように設定を変更しました。瞬快クライアントをアンインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作する設定になります。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード ※OSがVistaの場合のみ	なし	
	クライアント機能	修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスパナアイコンが青色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	一度Windowsからログオフして、再度ログオンしてください	
	サーバ機能	瞬快サーバをインストールしたコンピュータに対して「Windows Update」または「Microsoft Update」を実行すると「KB948109」の適用に失敗します。	マイクロソフト社より公開されているセキュリティ更新プログラム「KB948109」の問題を回避するロジックを組み込みました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	「KB948109」の問題を回避するための修正モジュールを弊社で用意しております。	
	リモート画面操作機能	クライアントPC側でモニタリングされていないにも関わらず、「モニタリング中」と書かれたステータスウィンドウが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	Windows Update連携	Windows Update連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフトなどのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらい。	実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	システムリカバリ機能	同時に100台を超えるような多台数へのディスクイメージ配信処理において、マルチキャスト配信処理終了直後にエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	多台数のクライアントに対してマルチキャスト配信を実施する場合は、一度に配信するクライアント台数を70台程度に抑え、数回に分けて配信を実施してください。	
	利用情報収集機能	修復無効モードの瞬快クライアントがインストールされたPCのディスクイメージを取得し、別マシンに配信した場合に、配信先のクライアントPCで利用情報収集機能の電源オン・オフのイベントが取得できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	瞬快クライアントは、ディスクイメージに含めず、配信時の後処理のサイレントインストールで行ってください。	